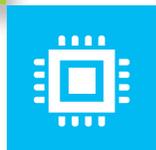




株主様へのご案内

2018年度第2四半期(第10期)

2018年4月1日～2018年9月30日



株式会社UKCホールディングス

証券コード：3156

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会：毎年3月31日
剰余金の配当の基準日	期末配当：毎年3月31日 ※中間配当を実施するときの基準日は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://www.ukcgroup.com/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページ	https://www.ukcgroup.com/
証券コード	3156
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
(連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

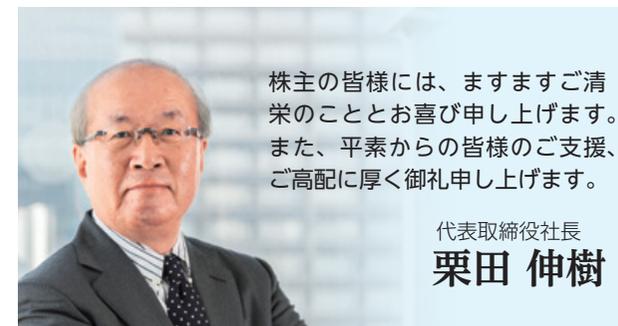
【お知らせ】

- 住所変更・単元未満株式の買取等のお問い合わせ先について
お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に係る各種手続きについて
上記の特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。
- 未払配当金のお支払いについて
支払期間経過後の配当金につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店でお支払いいたします。ご郵送の場合は上記郵便物送付先までご送付ください。

株式会社UKCホールディングス
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号
ゲートシティ大崎イーストタワー15階
TEL 03-3491-6575 FAX 03-3491-7825
<https://www.ukcgroup.com/>



株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素からの皆様のご支援、ご高配に厚く御礼申し上げます。

代表取締役社長
栗田 伸樹

当第2四半期連結累計期間（2018年4月1日～9月30日）の当社グループにおきましては、サムスングループへのソニー半導体・電子部品の販売終了等により売上高は前年同期比で減少しましたが、相対的に利益率の低い製品の売上割合が減少したことや香港及びシンガポールの貸倒引当金の回収（戻入）により、営業利益率は前年同期の1.6%から2.3%に改善しました。また、為替差損益が改善したことや昨年度特別損失に計上した過年度決算訂正関連費用の影響が無くなったことにより、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で増加しました。

下半期の経営環境は予断を許しませんが、引き続き事業領域の拡張と新規事業の創出に努めてまいります。

さて、ここでは、当社が2018年5月29日に公表しました中期経営計画のこれまでの進捗についてご報告いたします。第一の柱である「既存事業の強化」につきましては、「利益志向への転換」と「市場（商材×顧客/地域）の開拓」を掲げましたが、前者では事業ポートフォリオの再構築による売上総利益率・営業利益率の向上を果たし、後者では電子産業の集積地として目覚ましい発展を遂げているベトナムにデバイス販売会社を新設しました。

また、第二の柱である「新規/成長分野への積極投資」につきましては、「技術力強化を目指す積極投資」と「M&A及び資本提携」を掲げましたが、前者ではAI（人工知能）画像認識機能を搭載可能なカメラモニタリングシステムの開発を実現し、後者ではLSIの設計開発受託事業を営むLSIテクノを子会社化（UKCシステムエンジニアリングに商号変更）することによる当事業ポートフォリオの補完やドローンシステムインテグレーターとの資本提携を果たしました。加えて、9月14日に発表いたしました通り、2019年4月1日付でバイテックホールディングスとの経営統合を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

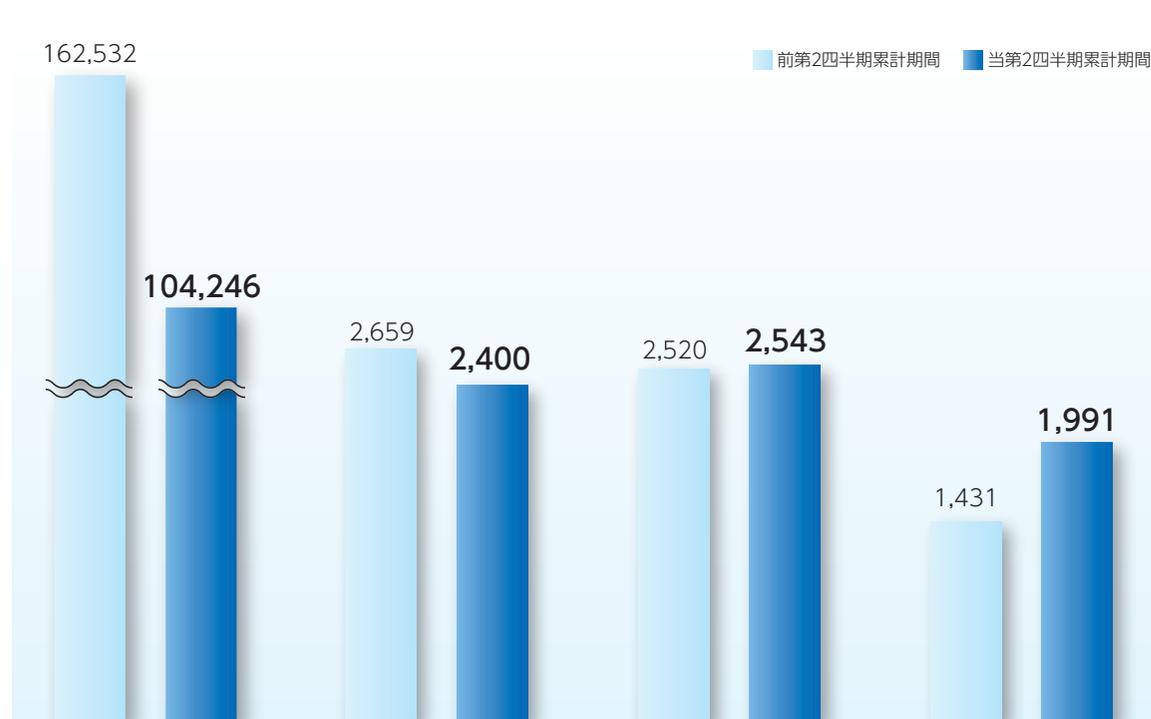
UKCグループの業績をご報告します

より詳細な情報は
当社ホームページへ

UKC 決算短信

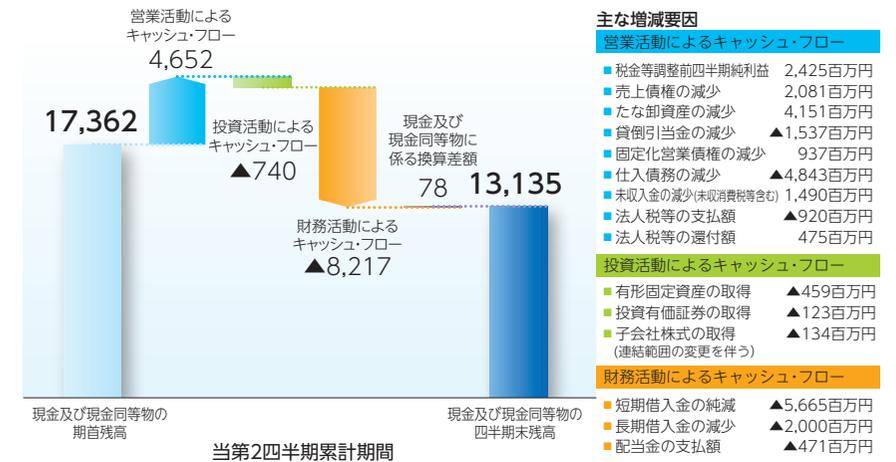
検索

四半期連結損益計算書 (単位: 百万円)

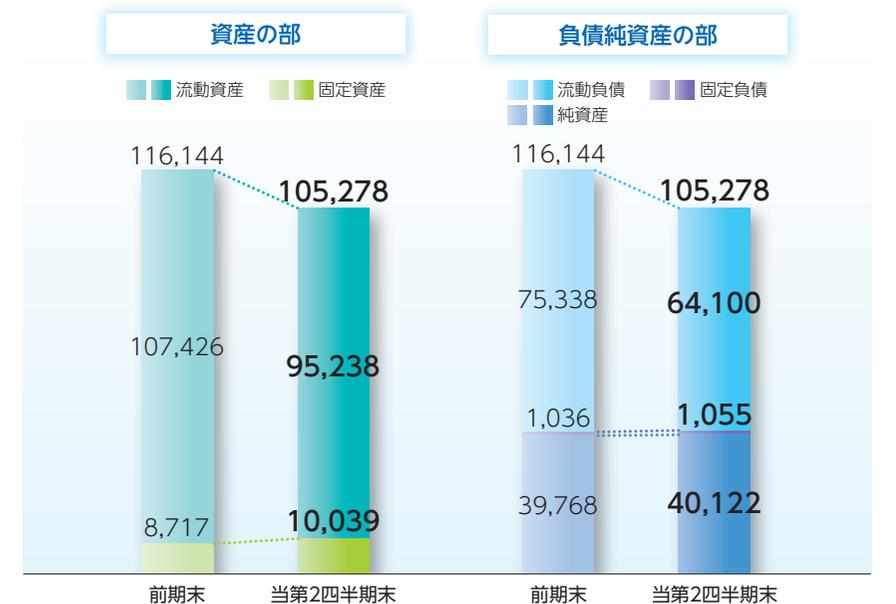


項目	Point
売上高	前年同期比 ▲582億85百万円 (▲35.9%) ポイント ■資本生産性や利益率の向上に向けた事業ポートフォリオ再構築により減収
営業利益	前年同期比 ▲2億59百万円 (▲9.8%) ポイント ■販売費及び一般管理費: 香港、シンガポールの貸倒引当金回収により、▲10.5億円 ■貸倒引当金については、本社特定債権管理室、香港、シンガポールの連携により、回収推進中
経常利益	前年同期比 +23百万円 (+0.9%) ポイント ■営業利益は減少も、為替差損益の改善(前年同期1.1億円差益⇒3.8億円差益)等で前年同期比増
親会社株主に帰属する四半期純利益	前年同期比 +5億60百万円 (+39.2%) ポイント ■昨年度特別損失に計上した過年度決算訂正関連費用の影響が無くなり、前年同期比増

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



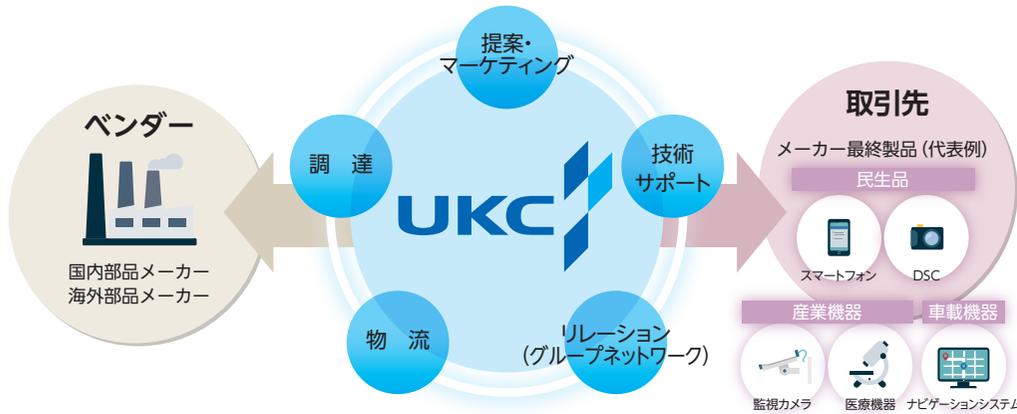
四半期連結貸借対照表 (単位: 百万円)



事業状況について

当社グループはエレクトロニクス分野の商社として、部品メーカーと最終製品メーカーとの間を結び適切なソリューションを提供することで、社会や世界の発展に貢献しています。

事業イメージ



電子機器事業

売上高
構成比

7.6%

- 半導体装置向けFAカメラの販売が堅調に推移した一方で、大型案件の遅延等により減収
- ソリューションビジネス等の新規ビジネス拡大に伴い販売費及び一般管理費が増加



売上高(百万円)



セグメント利益

▲4百万円
(前年同期は1億40百万円の利益)

半導体及び電子部品事業

売上高
構成比

91.1%

- サムスングループへのソニー半導体・電子部品の販売終了等により減収
- 売上総利益率の向上と、香港及びシンガポールの貸倒引当金の回収(戻入)により、セグメント利益率は改善



売上高(百万円)



セグメント利益

24億円
(前年同期比 4.6%減)

システム機器事業

売上高
構成比

1.3%

- 非接触ICカード関連事業においては、電子マネー用決済端末及び入退出関連製品の需要が拡大
- 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業においては、車載関連の受注が引き続き堅調に推移



FeliCa・NFC対応
電子マネー決済端末
【UFT-N15xシリーズ】
<OEM提供品>

売上高(百万円)



セグメント利益

92百万円
(前年同期比 3.8%増)

会社概要 (2018年9月30日現在)

商号	株式会社UKCホールディングス (英文名：UKC Holdings Corporation)
本社	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー15階 TEL 03-3491-6575 FAX 03-3491-7825
設立	2009年10月1日
資本金	43億83百万円
事業内容	各種半導体・電子部品、電子機器、システム機器販売事業、半導体等の信頼性試験・環境物質分析サービス及び、EMS事業等を営むこと、並びにこれらの事業を営む会社の株式又は持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理すること
従業員数	単体281名 連結2,279名
役員	<p>代表取締役社長 栗田 伸樹</p> <p>取締役 三好 林太郎</p> <p>取締役 矢島 浩</p> <p>取締役(社外) 岩本 永三郎*</p> <p>取締役 監査等委員 朝香 友治</p> <p>取締役 監査等委員(社外) 島崎 憲明*</p> <p>取締役 監査等委員(社外) 戸川 清*</p> <p>※東京証券取引所の定める独立役員として届け出ております。</p>

株式の状況 (2018年9月30日現在)

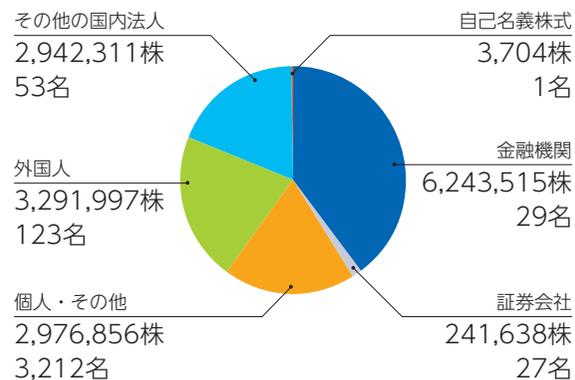
発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式総数	15,700,021株
株主数	3,445名

大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
みずほ信託銀行(株)退職給付信託ソニー株003口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	2,234	14.23
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,250	7.96
(株)オフィスサポート	1,094	6.97
(株)エスグラントコーポレーション	900	5.73
みずほ信託銀行(株)退職給付信託さらばし銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	623	3.97
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	610	3.89
(株)三菱UFJ銀行	496	3.16
中山 邦子	374	2.38
(株)みずほ銀行	370	2.35
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	358	2.28

株式分布状況

所有者別株式数分布状況



トピックス

2019年4月に株式会社レスターホールディングスとして新たなスタートを切ります。

2018年11月27日開催の臨時株主総会において、株式会社バイテックホールディングス(以下「バイテック」といいます。)と経営統合することをご承認をいただきました。2019年4月1日付で商号を株式会社レスターホールディングスに変更し、新たなスタートを切ります。

商号	株式会社レスターホールディングス (Restar Holdings Corporation)
代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼CEO 今野 邦廣 代表取締役社長兼COO 栗田 伸樹
事業内容	半導体及び電子部品事業、電子機器事業、システム機器事業、調達事業、環境エネルギー事業、新電力事業、植物工場事業を営む会社の株式又は持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理すること(純粋持株会社)
資本金	4,383百万円
決算期	3月

【目的及びシナジー】

近年、エレクトロニクス商社を取り巻く環境が大きく変化している中、業界でリーダーシップを発揮していくためには、自助努力に加えて、他社とのアライアンスにより事業の規模及び収益を一層拡大、追求していくことが重要となっています。当社とバイテックは、両社の経営理念に親和性があり、事業群、サプライヤー及び顧客、海外展開にも相当の補完性が認められることから、最適なパートナーとして、対等の精神の下、経営統合を行うことで合意しました。両社は、ラインナップ・販路の拡充、高付加価値ビジネスの拡大、独自ビジネスの創出、業務効率化といったシナジーの実現を通じて、国内業界トップクラスの規模を確立し、高付加価値を創出することで、企業価値の向上、社会発展への貢献を図ってまいります。

【統合会社の統合効果】

統合会社の統合効果を以下の通り見込んでおります。

2019年3月期業績予想	バイテック 2,100億円	UKC 2,200億円
2022年3月期数値目標	各社単独の中期経営計画の合算値 1,000億円	

統合効果の数値目標* 売上高：1,000億円
2022年3月期(統合3年目) 営業利益：50億円

※統合効果のみの数値目標であり、各社単独での中期経営計画の合算値に加算されるもの

【統合会社の株主還元方針】

総還元性向*：50%以上 ※配当及び自己株買いにより株主還元した合計金額を純利益で除した指標

設備投資、成長戦略投資及び事業拡大に伴う運転資本増加とのバランスをとりながら、積極的な株主還元を実現してまいります。